

3年	科目	学外実習II	実習	集中講義	担当	青木悠祐
電子制御工学科		Off-Campus Training II	選択	1履修単位		Yusuke Aoki
授業の概要						
<p>本学科の教育目標「C.工学的な解析・分析力、およびそれらを創造的に統合する能力」、「D.論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力」、および「E.与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力」を養うために、企業など学外において専門的な作業を実施する。</p>						
本校学習・教育目標(本科のみ)		目標	説明			
		1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
		4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
	○	5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標 (プログラム対象科目のみ)	実践指針 (プログラム対象科目のみ)			実践指針のレベル (プログラム対象科目のみ)		
授業目標						
<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会人としての基本的なマナーを遵守したコミュニケーションができる。 2. 企業における業務の遂行方法(開発手順、作業手順、文書管理など)について説明できる。 3. 一日の作業内容を的確に報告できる。 						
授業計画						
第1回	受け入れ先との協議による。					
第2回						
第3回						
第4回						
第5回						
第6回						
第7回						
第8回						
第9回						
第10回						
第11回						
第12回						
第13回						
第14回						
第15回						
評価方法と基準	<ol style="list-style-type: none"> (1)口頭試問により社会人としてのコミュニケーションマナーを評価する。 (2)実習報告書の内容とそれに関する口頭試問により、企業における業務の遂行方法を説明できるかを評価する。 (3)作業日誌により、一日の作業報告が的確にできるかを評価する。 実習報告書(70%)、口頭試問(20%)、自己評価(10%)					
教科書等						
備考	<ol style="list-style-type: none"> 1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。 					